

○事業所名	放課後等デイサービス チャレンジびび		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日 ～ 令和6年12月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日 ～ 令和6年12月25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	豊富なプログラムで一人ひとりに合わせた支援をしている。	一人ひとりのアセスメントを行い、それぞれに合う支援プログラムを提供している。運動や工作等のプログラムは、SNSを活用してヒントを得ている。	今後も丁寧なアセスメントの上で、適した支援プログラムを提供していく。 他施設で行っているプログラムの情報も連携会議で収集する。
2	職員同士の情報共有がしっかりできていることで、チームで支援を行える。	始業前の打ち合わせや振り返りを確実にしている。その日の役割分担を明確にしているため、主導する職員とフォローする職員がチームワーク良く動くことができる。	今後も情報共有と意識の統一を行っていく。 資質向上のための研修を受講していく。
3	虐待防止に向けた取り組みを確実に実施している。	虐待防止委員会が主導した研修を年に3回行っている。また、虐待防止チェックリストを年に2回職員に配布して実施することで、一人ひとりの振り返りを行っている。その他、外部研修の受講など研修機会を多く設けている。	今後も事例検討などの研修を実施することで、職員の意識の向上を目指す取り組みを続けて行く。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会を提供することや、ペアレントトレーニングの取組みが不十分だと感じている。	コロナ禍で保護者会を中止していた。 専門的なペアレントトレーニングを提供できる研修を受けられていない。	今年度から再開した保護者会を継続していくことが必要。保護者同士が交流できるような内容を計画していく。ペアレントメンター研修の受講を進めていく。
2	地域の関係機関との連携を強化する必要があると感じている。	今年度から事業所間連携や学校との連携会議を始めているが、連携の内容や頻度などモデルとなる連携の在り方の構築ができていない。	積極的に事業所間連携や、学校との情報共有を進めて行く。互いに継続可能な形を相談しながら決めていく。
3	保護者との連絡機能の充実や、作業効率化のための効果的なICT導入に課題がある。	数あるソフトの中から適切なものを選ぶことの難しさに課題を感じている。	連携している事業所から情報を得る。 インターネットでの情報収集を継続する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 チャレンジびび

公表日 令和7年 2月 14日

利用児童数 36名 回収数 30名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	
						ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	1	0	2	運動の内容によってはスペースが足りない事もあるかもしれないが普段の活動には足りていると思う。確保されていると思う。	限られたスペースを有効活用できるように今後も工夫していく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	0	0	2	手厚くフォローしていただける配置数だと感じた。人手不足の時代というのもあるのでもっと人手が欲しいと感じられることもあるのではないだろうか。	個別支援に対応するために基準以上の職員を配置している。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	0	0	1	トイレが広くて息子は多動なので助かっていると思う。子供たちがわかりやすくしてくださっていると思う。	プログラムの掲示やテーブルの色分けなど、分かりやすく見通しが立てられる様に工夫している。2段階の高さの手すりやエレベーターなどバリアフリー化の構造になっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	30	0	0	0	いつもとてもキレイです	療育終了後に急入りに清掃を行っている。活動に合わせて机の配置を変えている。
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1	0	1	安全確保の時以外は手首ではなく手をもって誘導していただくと、より参加している意識が持てると感じました。特に食べ物や言葉の聞き取り等には配慮していただいています。	場面に合わせて適切な対応ができるように、アセスメントと職員間の情報共有を行なっていく。今後も専門性を高められるように努める。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	0	0	2	記述なし	事業所で実際に提供している支援内容を公表している。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	1	0	0	記述なし	今後もご本人と保護者のニーズに沿って、十分なアセスメントを行った上で、伸ばしたいことや課題に対応した計画を作成していく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	0	0	2	記述なし	ガイドラインに示された支援内容から必要な項目を設定している。具体的に分かりやすい支援計画になるよう心掛けている。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1	0	0	記述なし	始業前に計画書を確認し、その日の支援内容に反映させている。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	0	0	1	先生方の創意工夫が素晴らしいです。色々な活動があり工夫がされていていつも素晴らしいと思います。	運動や制作活動、SSTなどを組み合わせている。新しい活動を取り入れるための情報収集を行っている。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	27	0	1	2	学童と合同のハロウィンまつりがあります。	学童と合同のハロウィンまつり開催の他、学童の行事（マジックショー、ゴミ収集車見学等）に参加している。
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0	記述なし	契約時に重要事項説明書の読み合わせをしながら説明を行っている。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0	記述なし	個別支援計画書の内容を説明し、確認をしていただいている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	3	0	4	家族も参加できる行事があり嬉しい。	年に3回の活動参観を実施し、事業所での関り方をお伝えしている。ペアレントトレーニングは、今後強化すべき課題としてペアレントメンター研修の受講を検討している。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	29	1	0	0	連絡帳や口頭で日々の活動の内容等細かく伝えてくれる。	連絡帳への記入と引き渡し時に口頭で伝えていく。必要に応じてご家庭の様子も聞き取りをしている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	0	0	0	記述なし	半年に一度の面談を実施している。その他にもご希望に応じて随時面談を実施し、課題に対する相談・助言を行っている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	1	どの先生も温かく接してくださっている印象です。ありがとうございます。子供の様子などいつもフォローいただいています。	その時々々の気持ちや行動を理解できるように観察しながら支援している。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	7	0	4	素敵なイベントが開催されていました。兄弟に向けて特定のイベントはないように思います。ハロウィンまつりには参加しましたがませんでした。	コロナ禍で中止していた保護者会を再開した。今後も研修会やワークショップを兼ねた保護者会を定期的に開催していく。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	0	0	2	こちらからの申し入れをしっかりと受け止めて下さり又職員間の周知もしっかりしてくれている	契約時に対応の体制を説明している。ご意見や相談の申し入れに対しては迅速に対応し、職員に共有している。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1	0	1	記述なし	一人ひとりの特性や状況に応じて対応している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	0	0	1	記述なし	「びび通信」を毎月発行するとともにホームページで活動の様子を伝えている。自己評価の結果は保護者に配布し、ホームページで公表している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	0	0	1	記述なし	個人情報保護規定に基づき適正に管理している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	0	0	2	記述なし	マニュアルを策定し、保護者に周知している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	0	0	2	記述なし	月に一度の避難訓練、防災学習を実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	0	0	2	記述なし	安全計画を策定し、周知している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1	0	2	記述なし	事故等が発生した場合は、速やかに保護者に連絡を入れ、状況等の説明をしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0	記述なし	今後も安心して通所していただける環境作りに努める。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3	0	0	びびりに行ける日を楽しみにしている。帰って来た時に満足そうな笑顔にこちらも嬉しくなる。いつも素敵な内容ありがとうございます	一人ひとりが楽しめるように、ニーズを重視した支援プログラムを提供していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1	0	0	三季休みや学校の振替休日の利用できる時間が短く就労には少々困っている。	ご本人と保護者の気持ちに寄り添い、満足していただける支援を目指していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 2月 14日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	活動内容に合わせて机の配置を変えてスペースを確保している。	運動プログラムの際はスペースが狭いと感じる時がある。外遊びや体育館遊びの機会を増やすことや、使用しない机を別室に移動するなどの工夫が必要。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	利用人数やこどもの状態に応じて、職員の配置数を増やして支援している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	絵カードやタイムタイマー等の視覚支援を行っている。高さの違う手すりやエレベーターを設置している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	療育後の清掃は除菌水を使用して適切に行っている。おもちゃや制作活動の道具等は使用時のみ倉庫から出すようにしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	必要に応じてパーテーション等を活用している。クールダウンや刺激のない環境で話をする際には療育室の隣にある相談室を使用している。	時間帯によっては安全管理上の問題で別室対応が難しい場合がある。療育室内の構造化を再考する必要がある。
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	全職員が参加するミーティングで目標設定と振り返りを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	年に一度アンケート調査を実施し、その結果を踏まえて業務改善につなげている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	日々の振り返りやミーティングで職員の意見を出せる環境が整っている。全員で検討して改善につなげている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	第三者評価は現在実施していない。今後検討していく。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	外部研修の情報を共有し参加者を募っている。受講してきた職員がミーティングで伝達研修を行っている。その他、法人内研修も実施されている。	
適切 な 支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	支援プログラムを作成し、公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	アセスメントを適切に行い、ご本人・保護者のニーズや課題を分析した上で、計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	計画の作成には、支援に関わる職員と共にサービス担当者会議を開催し、ご本人にとって最善の計画となるよう検討をしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	計画は職員間に共有し、支援前に確認を行い療育プログラムに反映させている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	日々の行動観察やコグトレで発達状況を確認するとともに、アセスメントツールを使用している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	放課後等デイサービスガイドラインのねらいや支援内容を踏まえて、サービス計画を作成している。具体的に分かりやすい支援内容を設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	日々の活動状況を共有している。支援開始前の打ち合わせでプログラムを決めている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	その日の利用児に合わせてプログラムを変えている。運動プログラムや制作プログラムは固定化しないように、インターネットやSNSでも情報を収集し、取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別活動と集団活動を組み合わせて、ご本人が楽しみながら充実した時間を過ごせるように計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援開始前に当日出勤した職員全員で打合せを行っている。個々の課題とプログラムの流れを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	毎日振り返りを行い、良かった点や改善が必要な点を確認している。その内容は引継ぎノートで全職員に共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	保護者への連絡事項の記入とともに、業務日誌や個人の記録を残し、支援の検証や改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年に1度以上モニタリングを行い、見直しの必要性を判断している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	多様な遊びや体験の中で、基本的な生活動作の習得につなげるプログラムを提供している。同法人で運営している学童保育所と一緒に活動する機会を設けるなど、基本活動を複数組み合わせた支援を行っている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	創作活動では作品や色を自己選択できるようにしている。また余暇活動でも、何をして遊びたいか自己選択をする形を取っている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	子どもの状況を把握した管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	学童保育所や学校、他事業所と連携して支援を行う体制を整えている。	協力医療機関との連携体制は整っているが、主治医との連携はできていないことが課題となっている。医療連携が必要なケースは積極的に連携する体制を整えることが必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	情報共有や連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	児童発達支援事業所との情報共有はできている。保育所や幼稚園での情報は保護者からの支援シートの提出で得ている。	保育所や幼稚園とは直接的な情報共有はできていない。今後は保護者の意向を確認しながら連携していけるよう努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	「支援状況シート」を作成し、情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	児童発達支援センターが開催している研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	同法人が運営している学童保育所と合同でハロウィンまつりを開催している。その他、学童保育所の行事に参加して一緒に活動する機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	自立支援協議会が開催する研修や報告会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳のやり取りや、送迎時などに情報交換を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	年に3回、活動参観を実施している。その中で関わり方のアドバイスや提案をしている。	ペアレント・トレーニング研修を実施できるように職員のペアレントメンター研修の受講を検討している。八王子市が開催している保護者向けの研修の情報提供も今後行っていくことが必要。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に重要事項説明書の読み合わせをしながら丁寧に説明している。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	計画の作成に先立って、保護者面談を実施している。また、ご本人からの希望の聞き取りを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	計画を示しながら支援内容を説明し、確認していただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	半年に一度の面談の他にも日々相談に応じ、助言をおこなっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	コロナ禍で中止していた保護者会を開催した。ワークショップと懇談会で保護者同士の交流ができた。	定期的に保護者会や茶話会を開催し、保護者同士で交流する機会を増やしていくことが必要。きょうだい同士で交流する機会についても検討をする。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情対応の体制は整備して保護者に周知している。苦情があった場合は迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	「びび通信」を毎月発行し、活動内容や行事予定を発信している。ホームページにも活動の様子を載せている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報保護規定に基づき適切に管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	説明は分かりやすいことばで、ゆっくり丁寧に伝えるように心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	1月に開催した作品展には地域の方を招いた。外掲示には、個人が特定できないよう加工した上で「びび通信」を掲示して活動の内容を知らせている。	
非常時の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	マニュアルを策定し、周知している。訓練も実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCPを策定し、月に一度の訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	契約時に聞き取りを行い、服薬状況やてんかん発作時の対応等について確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	現在該当する利用児はいないが、毎年アレルギー調査を行っており、該当児には医師の指示書の提出を求めている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成し、周知している。必要な研修や訓練も実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	8	安全計画を策定し、保護者への周知を行った。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	少しでも危険と感じた事象はヒヤリハットを記入し、再発防止対策について職員間で検討・共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止委員会を設置し、年に3回の研修の実施と、虐待防止チェックリストの記入を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	現在該当する利用児はいないが、「身体拘束適正化のための指針」を策定し、研修を実施している。身体拘束が必要なケースが発生した場合は、事前に説明をし理解を得て計画に記載する。	